

## 国土交通省 災害物流研修が行われました



災害時におけるトラックターミナルの取組みについて説明



熱心にメモをとる研修参加者



日通トランスポート㈱の実演



非常用発電設備の見学

平成 27 年 10 月 14 日、京浜トラックターミナル（大田区平和島 2-1-1）で、国土交通省国土交通大学柏研修センター主催の「平成 27 年度 災害物流研修」の現地見学が行われました。

同研修会は、大規模災害発生直後における円滑な支援物資物流を実現するために、その専門知識を習得し事務能率の向上を図ることを目的として、10 月 13～16 日の 4 日間、地方運輸局や自治体、トラック協会、倉庫協会等の防災担当者ら 45 名を対象に行われました。

当社のトラックターミナルは国の広域物資拠点に指定されていることから、現地見学として京浜トラックターミナルにおける災害対策の取組みを紹介しました。発災後 72 時間対応可能な非常用発電設備や防災備蓄倉庫などを見学するとともに、東京都地域防災計画における広域輸送基地の役割等の説明を行いました。

さらに、同トラックターミナルの利用事業者である日通トランスポート株式会社（東京支店永野部長）にご協力いただき、フォークリフトやハンドリフターを使った荷物の取扱いの実演や災害時の課題等について紹介していただきました。

当社は、大規模災害時における広域輸送拠点としての役割を発揮するために、これからも国や東京都、関係事業者との連携を積極的に進めてまいります。

以上